

ERPソリューション

EXPLANNER 導入事例

ヒマラヤグループ(株式会社ヒマラヤ)様

ERPソリューション EXPLANNERの機能を、
お客様固有のSLAを設け、プライベートクラウドによるサービス型で提供

スポーツ用品専門店大手のヒマラヤ様は、事業環境の変化への素早い追従と、グループ経営管理の高度化を目指し、ERPシステムの刷新を計画。「基幹業務システム EXPLANNER/Ai」「ワークフローシステム EXPLANNER/FL」「固定資産管理システムEXPLANNER/Fa」の機能を、自社固有の要件を満たすプライベートクラウドによるサービス型システムを採用しました。オリジナルの帳票作成機能や、予実シミュレーションなど、同社の管理会計に大きく寄与しています。



株式会社ヒマラヤ
情報システム部
部長
加藤 宏明 氏



株式会社ヒマラヤ
経理部長
村橋 文彦 氏



株式会社ヒマラヤ
経理部 経理チーム
マネージャー
井村 尚也 氏

●導入背景・課題

- 会計基準・法制度の改正が相次いでおり、投資金額を抑制しながら、変化に追従しやすいシステム基盤の整備が必要。
- 競合他社との競争に勝ち抜くためにも、これまでよりスピーディな部署別の損益管理、および資産管理の強化が必須。

●導入成果

- 会計基準・法制度改正への柔軟な対応はもたらしたこと、経費系のワークフローの刷新と集計の自動化により、全部門・全店舗の損益管理のレベルの引き上げに成功。
- 現在の損益状況と、将来の損益の着地予測のタイムリーなモニタリングが可能に。内部統制に関する機能への評価も高く、監査対応など、業務の負荷が軽減。

●NECの提案

- 365日稼働・24時間サポートという、ヒマラヤ様の要件に対応したSLAを作成。基幹業務システム「EXPLANNER/Ai」をベースに、プライベートクラウドによるサービス型システムを提案。
- 運用サポートの拠点には、沖縄にあるパートナー企業のデータセンターを選定。システム開発を担ってきたSEチームが運用サポートも兼務する、強固な体制を構築。

導入前の課題

投資金額を抑制しながら、
変化に追従しやすい会計システム基盤を
整備することが急務だった

ヒマラヤ様は、総合スポーツ用品店「ヒマラヤ」「B&D」の店舗企画・運営を担う企業です。グループ2社で全国に計140店を展開する業界大手であり、近年は商圈に合わせたきめ細かい店舗づくりと接客・サービスに重点を置き、順調な業績拡大を続けています。

2011年、同社はIFRS(国際会計基準)への柔軟な対応と、従来はシステム化が不十分だった部門別の損益管理・資産管理を強化する目的で、ERPシステムの刷新を計画しました。「各種制度

改正の頻度が増えてきたため、投資金額を抑制しながら、変化に追従しやすい会計システム基盤を整備する必要がありました。法改正のためにシステム環境の再構築やメンテナンスが必要になるオンプレミスではなく、サービス型のシステム導入を検討しました」。情報システム部 部長 加藤宏明氏は当時を振り返り、こう語ります。「ある部門で、予算と実績がかい離していた場合、その原因把握のために煩雑な作業と工数を要していました。サービス型のシステムによって、経費・予算・実績などを各部門でより早く確認できるしくみを構築したかったのです」と、経理部長 村橋文彦氏は話します。



社 名：株式会社ヒマラヤ
所 在 地：岐阜県岐阜市江添1丁目1番1号
創 業 年：1991年
資 本 金：25億4,440万9,891円(2012年8月31日現在)
売 上 高：616億400万円(連結：2012年8月期)
従 業 員 数：767人(平成24年8月31日現在)

事業内容：総合スポーツ用品(野球・サッカー・テニス・バスケットボール・バレーボール・ゴルフ・アウトドア用品・スキー・スノーボード・マリン用品・ウェルネス用品)などの専門店チェーンの企画・運営。「ヒマラヤスポーツ」・「ヒマラヤスポーツ&ゴルフ」・「ヒマラヤゴルフ」他

U R L：http://www.himaraya.co.jp/



お客様の成長をささえるERPソリューション



導入の経緯

「365日稼働・24時間サポート」を前提としたSLAの作成が決め手に

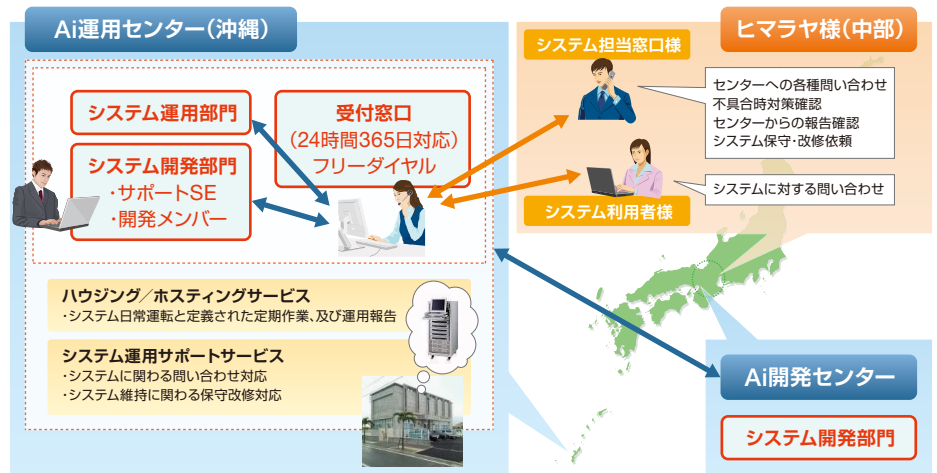
ヒマラヤ様では今回の計画に沿ったRFPを作成し、ベンダ各社のサービス内容を検討しました。しかしヒマラヤ様の求める機能要件とは、大きな隔りがありました。「当社のような小売業の基幹業務システムは、365日24時間稼働が前提です。パブリックなクラウドサービスはこの要件を満たせておらず、一般的なプライベートSaaS型のサービスであっても、年末年始や大型連休の際にヘルプデスクサポートが受けられるわけではありません」(加藤氏)。そこでNECでは、365日稼働・24時間サポートというヒマラヤ様の要件に対応したSLAを作成。NECの基幹業務システム「EXPLANNER/Ai」をベースに、プライベートクラウドによるサービス型システムをヒマラヤ様に提案し、採用されました。

また、部門別の損益管理・資産管理の強化という課題に対しては、NECのワークフローシステム「EXPLANNER/FL」を提案し、採用されています。経理部と各事業部門間でやりとりしていた紙ベースの申請書の流れを電子化し、EXPLANNER/Aiとの連携で、部門別の予算管理の実現など、管理会計に寄与する点が評価されました。運用サポートの拠点には、日本流通システム株式会社(以下:JCS)沖縄支店のデータセンターを選定。経理部 経理チーム マネージャー 井村尚也氏はデータセンターを視察した際、「サーバ群の堅牢な設置環境はもちろん、セキュリティや運用管理体制についても、納得できるものでした」と話します。

運用サポートと共に、月額費用方式でヒマラヤ様に固有のサービスを提供

新システムは、2011年9月より稼働を開始。ヒマラヤ様向けに専用のサーバ環境をNEC側で用意し、運用サポートと共に月額費用方式で固有のサービスを提供するホスティングメニューです。現在では総合スポーツ用品店「ヒマラヤ」(109店舗+本社)に、グループ子会社「B&D」(31店舗+本社)が加わり、ヒマラヤグループ全体で利用されています。

- ERPソリューション EXPLANNERを、ヒマラヤ様向けにプライベートクラウドによるサービス型で提供する、本システムの運用サポート体制図



- 会計システムとワークフローシステムの機能を、プライベートクラウドによるサービス型による月額費用方式で提供。
 - 年末年始や大型連休に売上が伸びる総合スポーツ用品店に対応した、SLAを実現(365日、24時間サポート)。
 - サービス型だから、店舗の新設やグループ会社への展開にも、迅速に対応。
 - 沖縄に設けた「Ai運用センター」は、「Ai開発センター」の機能も兼ね備えている。
- つまり、システム開発を担ってきたSEチームが運用サポートも兼務する、強固な体制である。

導入後の成果

オリジナルの帳票作成機能や、予実シミュレーションなど、管理会計に大きく寄与

ヒマラヤ様では、導入の際に見込んでいた法制度改正への柔軟な対応はもちろん、部門間にまたがる日々の業務においても、さまざまな効果が得られています。

「EXPLANNER/Aiに標準で装備されている帳票に加えて、当社独自の管理帳票も容易に作成でき、集計も自動化できています。従来パッケージでは、CSVで出力したものをExcelで加工して各部門に報告していましたから、作成にかかっていた工数が削減できています」(井村氏)。

経費系のワークフローについては、EXPLANNER/FLの導入を機に、経費の入力を各主管部門で分散して行う方法に変更しています。入力されたデータをEXPLANNER/Aiと連携することで、自動仕訳が行われています。その結果、「どの部門・どの店舗でも詳細なレベルで経費の管理が行えるようになり、予算と実績がかい離していた場合も、その原因把握が容易になりました」と加藤氏は強調します。このような運用は、「B&D」も含めたヒマラヤグループとして実施しており、プライベートクラウドによるサービス型というシステム

の特性を活かし、会社組織の壁を越えたワークフローが実現されています。また、村橋氏は店舗別の損益の着地予測に関して、「実績と予算を繋ぎ合わせることで、将来予測のデータを取り出しやすくなった」と話します。内部統制に関する機能への評価も高く、「監査対応をスムーズに行えるようになりました」と村橋氏は語ります。

グループ経営の管理手法をより高度化し、組織的なICT活用を推進

ヒマラヤ様が本システムを導入した2011年当時は、強制適用が確実視されていたIFRSへの対応が、大きなねらいとして存在していました。しかしこの2年余りで、M&Aや他社との競争の激化など、ヒマラヤ様をとりまく経営環境は大きく変化しました。結果として新システムは、制度変化に対応する「守り」のしくみという面よりも、グループ経営の管理手法を高度化し、「攻め」の事業展開を実践するための情報基盤として大きく貢献しています。同社は今後も、環境変化に機動的に対応していくための、組織的なICT活用を進めていく考えです。

お問い合わせは、下記へ

NEC EXPLANNER部

TEL: 03 (3798) 6844 FAX: 03 (3798) 7169
URL: <http://www.nec.co.jp/explanner/>

- 本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の輸出(非居住者への役務提供等を含む)に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合は、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。